

梅雨が明けて、果実の肥大が進んでいます。  
極早生、早生温州の仕上げ摘果を行いましょう！

## 1 令和元年7月の気象

令和元年7月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第2、3半旬が平年より3℃程度、第4半旬が平年より1℃低く、第6半旬が平年より1.2℃高く、他はほぼ平年並みであった。月平均気温は23.4℃で、平年より0.9℃低く、前年より3.2℃低かった。

降水量は、第1、第3半旬が平年の2倍以上多かった。月合計は291mmで、平年の150%、前年の188%であった。

日照時間は、第6半旬を除くといずれも平年より少なかった。月合計は105時間で、平年の62%、前年の41%であった。

表1 令和元年7月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.5	22.7	25.8	109	37	7	5	21	42
2	20.2	23.3	26.0	37	44	25	13	23	37
3	21.3	24.4	26.8	82	38	53	6	25	38
4	23.7	24.7	27.5	23	23	0	10	28	53
5	25.5	25.1	27.7	3	25	0	21	32	49
6	27.0	25.8	25.5	38	27	70	49	42	37
平均/計	23.4	24.3	26.6	291	194	155	105	169	256

## 2 果実及び樹の生育

南房総市内の2か所の園地と暖地園芸研究所における温州ミカンの園全体の着果量は、早生温州、普通温州ともに昨年より多く、表年の傾向である。7月31日における調査園の果実生育状況を表2に示した。横径は「日南1号」が4.5cm、「興津早生」、「大津4号」及び「青島温州」が3地区の平均で見るとそれぞれ3.6cm、3.7cm、3.8cmであった。平年と比較すると「日南1号」及び「興津早生」は96%及び92%と小さかったが、「大津4号」及び「青島温州」は平年並みであった。前年と比較すると「日南1号」は94%、「興津早生」は82%、「大津4号」は75%、「青島温州」は84%と小さかった。

縦径は、「日南1号」が3.8cm、「興津早生」、「大津4号」及び「青島温州」が3地区の平均で見るとそれぞれ3.3cm、3.1cm、3.3cmであった。平年と比較すると「日南1号」及び「興津早生」は95%及び94%と小さかったが、「大津4号」及び「青島温州」は平年並みであった。前年と比較すると「日南1号」は90%、「興津早生」は85%、「大津4号」は82%、「青島温州」は89%と小さかった。

果形指数は、「日南1号」が1.2、「興津早生」、「大津4号」及び「青島温州」が3地区の平均で見るとそれぞれ1.1、1.2、1.2であった。平年及び前年と同程度であった。

表2 果実の生育（令和元年7月31日）

品 種	調査地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
日南1号	暖地園研	4.5	4.7	4.8	3.8	4.0	4.2	1.2	1.2	1.1
興津早生	三芳地区	3.6	3.8	4.2	3.3	3.4	3.8	1.1	1.1	1.1
	千倉地区	3.6	3.9	4.2	3.2	3.5	3.6	1.1	1.1	1.2
	暖地園研	3.7	3.9	4.8	3.3	3.5	4.2	1.1	1.1	1.1
	平 均	3.6	3.9	4.4	3.3	3.5	3.9	1.1	1.1	1.1
大津4号	三芳地区	3.7	3.7	4.7	3.1	3.2	4.0	1.2	1.2	1.2
	千倉地区	3.6	3.8	4.5	3.1	3.2	3.6	1.2	1.2	1.2
	暖地園研	3.8	3.7	5.8	3.1	3.0	3.7	1.2	1.2	1.6
	平 均	3.7	3.7	5.0	3.1	3.1	3.8	1.2	1.2	1.3
青島温州	三芳地区	3.9	3.7	4.5	3.3	3.2	3.9	1.2	1.2	1.2
	千倉地区	3.7	3.8	4.2	3.2	3.2	3.5	1.2	1.2	1.2
	暖地園研	3.8	3.7	4.6	3.2	3.1	3.8	1.2	1.2	1.2
	平 均	3.8	3.7	4.5	3.3	3.2	3.7	1.2	1.2	1.2

各地点の各品種の値は40果の平均 ただし、鳥害、落果、台風害により調査果実を変更した樹がある  
果形指数は、横径/縦径

### 3 8～9月の栽培管理

#### (1) 摘果

極早生、早生温州について粗摘果から1ヶ月後となる8月を目安に仕上げ摘果を行う。  
傷果や奇形果を取り除きつつ、適正葉果比（早生温州では25葉に1果、普通温州では20葉に1果）に近づけるようにする。

着果量の少ない樹は、早生温州、普通温州ともに着果負担や水分ストレスがかかりにくくなり品質が悪くなるため、摘果は行わず収穫1ヶ月前頃の樹上選果を行う。

#### (2) 主な病害虫の防除

##### 1) 黒点病

ジマンダイセン水和剤及びペンコゼブ水和剤の予防効果は降雨によって低下するため、散布からの累積降水量250mm前後を目安に次の防除を行う。

##### 2) ミカンサビダニ

高温乾燥条件となるこの時期から9月まで果実を加害する。被害が拡大する恐れがあるため、果実1～2個の被害を見たら直ちに防除する。

##### 3) ミカンハダニ

果実や葉を加害する。寄生葉率が30%以上になった時点で速やかに防除を行う。

※極早生温州等、収穫の早い品種については農薬の使用から収穫までの日数に注意をする。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》 千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>